

①

「だいこん かいぎ」

脚本・画 辺子太蓮 へこだれん

いなかのおばあちゃんが、だいこんの
たねをまきました。

ころり ころころ ころりんこ。

だいたいのたねは、ふかふかにたがやし
て、ふんわりとたかくした、やわらかい
うねに、うまくのりました。

「あれ〜っ。ころがりすぎ。

おっこちちやうよく。」

はたけ
畑のすみっこに、おちてしまったたね
もありました。

【 間をあける 】

一週間ほどたつと、かわいい芽が……。め

※中・高学年向き

11分〜15分

演出ノート

歌のように

リズムカルに

おしゃべりの感じ、

おどろいたように

こまったように

■次ページ抜きあり

四分の一ずつずらし、

芽がでるように抜く

②

「ぽりぽり、ぽん」

抜き取り線

できましたよ。ほらね。

ぐぐぐぐぐぐぐぐぐと。「のびて・・・」

抜き取り線

「しゃきいんど。ぐいっど。」のびて・・・

「ぱりん。」と、たねの皮かわから・・・

抜き取り線

「ええうい。ぽつかあん。」

みいんな元気げんきに、芽めをだしましたよ。

すみっここにおちたたねも、小石こいしの間あいだ

から、なんとか芽めをだすことができました。

「あー、よかったあ。」

※このにあわせ止める

元気よく

明るい声で

※このにあわせ止める

※このにあわせ止める

うれしそうに

■次ページ抜きあり

③

(大根たち)

「毎日毎日まいにち まいにち すこ少しずつおおきくなつて、ちつちやなだいこんになつてきたよ。でも、ぼく、おもいよう。」

抜き取り線

※**ここにあわせ止める**

(大根たち)

「わたしだつてえ、みてよ。おおきな木きのかげでね、おひさまがあんまりあたら
ないのよう。おかげで色白いろしろになりそう。
あら、だいこんだから、もともと白しろい
んだつたわあ。」

抜き取り線

※**ここにあわせ止める**

(大根たち)

「ああ、よかつたあ。
わたしたちは、雨あめもよくかかってくるし、
おひさまだつてたあっぷり、いっぱい
あたるもんね。ああ、しあわせ。」

うれしそうに

ほんわかしたかんじで

すなおによるこんで

いるように

④

三ヶ月ほどたったある日。だいこんたちのおしゃべりがきこえてきましたよ。

(まがり大根)

「だいぶんおおきくなってきたねえ。」

(やせやせ大根)

「さいしよは同じぐらいのおおきさだつたぼくたちなのに、ずいぶんちがいがでてきたなあ。」

(スツキリ大根)

「あーら、そうかしら?」

(太っちょ大根)

「おれさまなんか、みんなのなかで一番おおきいぜえ。これならおみせの

大人気者だろうぜえ。」

さあて、どうでしょうね。どのだいこんが人気者でしょうかね。みなさん、どうですか? どのだいこんかなあ。考えてみてね。みなさんは、どれだとおもう? よそうしてみてね。さあ、みてみましょう。

大根によって声を少し変化させる

★ナレーションの所
見ている方に、参加してもらい、どれか予想をたててもらう

■次ページ抜きあり

⑤

お母さんかあと男おとこの子が買かっています。

さて、どうかな？ わくわく。

ジャジャジャーン。

抜き取り線

パンパカパーン。パツパツパツパアーン。

(スツキリ大根)

「やおやさんでいちばんにんき一番人気は、ホツホツのホ。わたくしです」

(やおや)

「やすいよ、やすいよ。」

しんせんでうまい。いなかからおくつてきたばかりの、だいこんだよ。」

あれあれ、ほかのだいこんさんは、どうしたのかしらねえ。

やおやさんには、みあたりません。どう

やら、ここにはきていないようです。

※ここにあわせ止める

明るく楽しく

元気よく

よびこむように

■次ページ抜きあり

⑥

(まがり大根)

「えっ、うそでしょう。」

そんなあ〜。

ぼくって形かたちがわるくって、

売うれないっていうの。

ガ〜ン。ショックだあ〜。」

抜き取り線

(やせやせ大根)

「うえ〜ん。」

ぼくは、やせすぎなんだって。

ほそいだけで、ぼくだってだいこんだよ。

食たべてもらえないなんて、

かなしすぎるよ〜。」

(大根たち)

「そうだ、そうだ。」

びっくりした感じ
かなしそうに

※**まご**にあわせ止める

なみだ声で
うったえるようにいう

(太っちょ大根)

「うゝ、うゝ。」

ぼつかあん。いかりがばくはつだあ。

おれさまじゃない？

ふとくつて、おいしそうだと、いっちば

んに売れると思つたのになあ。

どうしてなのさあ。おおきい方がいいで

しよう？

いっばい食たべられるよ。」

(大根たち)

「ちよつと、みんなでおばあちゃんに

きいてみようよ。」

「まだまだ出荷しゅつかは、もうちよつと先まへだから

さあ。」

元気よく

おこったかんで、

少し声をおおきくして

みんなでわいわい

いつているように

ところがその晩ばんから、おばあちゃんおばあちゃんはインフルエンザで、高熱こうねつと体中からだじゅうのいたみで、ねこんでしまいました。

(おばあちゃん)

「うーん。うーん。たいへん、たいへん。きついわあ。こうしてねていても、

畑はたけのことが気きにかかるわあ。今いままでかわいがってそだててきただいいこんたち。

大雨おおあめがふってながされたりしないといいんだけど……」。

抜き取り線

「一日いちにちも早くよくならないといけないわ。

とりいれの時ときが近いちかのに、タイミングがずれると、おおきくなりすぎちゃうわ。

おおきいと、規格きかくにあわないからと買かってもらえなくなるのよ。そうすると、だいいんぜんぶすててしまうことだつてあるし。」

きつくて苦しそうに
心配しんぱいしているように

※**いん**にあわせ止める

⑨

(大根たち)

「え〜っ。ぼくたち、

すてられちゃうの〜。」

「いやだよ〜。なんとかならないの。

ねっ、ねっ、ねっ。ねえってばあ。」

「そうだ。そうだ。

なんとかかちえをだそうよ。」

「おばあちゃんも、いつしよに考かんえてよ

う。おねがい。」

「みんなで、だいこんかいぎだあ。」

「う〜ん。」

「う〜ん。」

(おばあちゃん)

「そうだねえ。

どうしたらいいのかねえ。」

(大根たち)

「みんなもいつしよに考かんえてみてよ。」

「どうしたらいいと思う?。」

「う〜ん。ぼく、考かんえすぎて

ねじれちゃったよう。」

わいわいと相談して
いるように

★見ている人にも参加
してもらおう
考えた人にも言って
もらおう

(太っちょ大根)

「おおきかろうがちいさかろうが、きつちまったらおんなじだろうがよう。きるのを、ひとくふうしてよ。いちようぎりに、わぎり、せんぎりなんてしてよ。それを、パックづめにしちゃうのは、どうでえ。」

(まがり大根)

「おっ、それいいね。いいね。ぼくみたいにまがつていても、おろしがねですりすりして、おろしてしまうつていうのもありだよ。けっこう、からみもきいていて、なべにもぴったりだよ。」

(やせやせ大根)

「ぼくなんかつけものにしたら、ちようどいい。まるごとできるよ。」

きりぼしというても、あるしさあ。」

(おばあちゃん)

「みんな、いろいろアイデアをだしてくれて、ありがとう。でもね、じしんるときなど、どうろがとおれなくなったり、こうじようがつかえなくなったりすることもあるんだよ。」

大根のちがいが
でるように

★見ている人にも参加
してもらおう
他にもいい考えたが
ないか聞く

(大根たち)

「お客さんのほうから、来てもらおうって
いうのは、どうかしら。」

「どうやってさあ。」

「むりなんじゃないの。」

「となり村やちかくの町の人でも
いいんじゃない。」

「人がいっぱいいるというと・・・。」

「あっそうか。お祭りだとか、

朝市とかね。」

「料理コンテストなんかもいいね。」

大根のちがいがでる
ように

★見ている人にも参加
してもらおう
他にもいい考えが
ないか聞く

(おばあちゃん)

「いろいろいつしよに考えてくれて
みんなもありがとう。」

見ている人にも言っ
ているかんじで

さて、だいこんを買ってかえった、あの
男の子のおうちをのぞいてみると……。

【間をあける】

おっ、食べてる食べてる。テーブルの上
には、だいこんづくし。ぶたじるにだいこ
んの煮物。やき魚のおろしかけ。どれも、
おいしそうだなあ。

(男の子)

「ぶっはあ〜。うまあい。
ごはんをいっぱい食べたべちやうぞ。」

元気よく明るく

だいこんパワーで男の子は、ますます
元気もりもりになりそうです。

(おしまい)